

I 徳島視覚支援学校，徳島聴覚支援学校

II 保健室

III 指導のねらい

視覚支援学校と聴覚支援学校の両校の幼児・児童生徒が安心して保健室に来室できるよう，親しみやすい保健室づくりに取り組もうと考えた。

養護教諭が聴覚支援学校の幼児・児童生徒と会話する時に，手話や口話だけでなく，「筆談パット」や「こえとら」等のアプリを用いることで，健康状態の把握を効率的に確実に行えるとともに，よりスムーズなコミュニケーションが図れると考えた。

また，保健室前の廊下の掲示物は，両校の幼児・児童生徒が興味・関心が持てるよう見て，聞いて，触れて楽しみながら学べる掲示物にしたいと考えた。教材作りの際には，字の大きさや輪郭，色のコントラスト等弱視の幼児・児童生徒への配慮に加え，色覚に特性のある幼児・児童生徒の見え方に配慮した色づかいを検討できるよう「色のシミュレータ」を活用し，見えやすい掲示物を作成したいと考えた。

IV 使用した支援機器・教材

iPad アプリ「筆談パット」(Catalystwo Limited) 無料，iPad アプリ「こえとら」(NICT) 無料，iPad アプリ「色のシミュレータ」(Kazunori Asada) 無料

V 実践内容及び成果

保健室に来室した聴覚支援学校の幼児・児童生徒とのコミュニケーションツールとして，「筆談パット」を活用した。このアプリは，紙や鉛筆を用意しなくても，iPad だけで筆談ができ，向かい合った状況で自分の書いた文字が相手側の画面にも反映され，自分が書く文字と相手の書く文字の色を変えることができ，よりわかりやすく，スムーズに会話をすることができた。また，「こえとら」は，「定型文」を用いることで，筆談よりも早く伝えたいことを伝えることができた。さらに，「音声で答える」を用いると，話したことが文字になって表示され，よりスムーズなコミュニケーションを行え，アプリを活用したことで，より相談しやすい保健室づくりにつなげることができた。

廊下の掲示物の作成には，色覚に特性のある幼児・児童生徒が見やすいよう「色のシミュレータ」を活用し，色の見え方やコントラストの強弱等を確認し，幼児・児童生徒への配慮ができているかを確認しながら掲示することができた。

VI 写真・図

写真1：「こえとら」を活用している様子



写真2：「色のシミュレータ」の画面



I 徳島視覚支援学校・徳島聴覚支援学校

II 保健室

III 指導のねらい

保健室に来室した聴覚支援学校の幼児・児童生徒との会話や問診を、より正確により効率良く行う。

IV 使用した支援機器・教材

iPad, iPad アプリ「こえとら」(FEAT Limited) 無料

V 実践内容及び成果

聴覚支援学校の幼児・児童生徒の問診の際に、前年度は文字を入力したり、元からある定型文を用いたりして「こえとら」を使用していたが、より実態に応じた問診ができるように問診事項の検討を行った。使用頻度の高い定型文を増やし、問診が滞りなく行えるよう整理をしたため、幼児・児童生徒は、登録されている定型文から使いたい言葉をスムーズに選択し、正確に伝えることができるようになった。また、問診時間の短縮になったことにより、休み時間等の限られた時間内で、より踏み込んだ保健指導や健康相談につなげることもできた。

さらに、保健室に複数の来室者がいる際にも、周りを気にせず相談や問診ができるという利点もあった。

VI 写真・図

写真1：「こえとら」の定型文



写真2：質問が提示された画面



I 徳島視覚支援学校， 徳島聴覚支援学校

II 保健室

III 指導のねらい

本校では，体重管理が必要な生徒は，毎朝保健室で体重測定をし，紙媒体に数値とグラフを記録している。そこで，自分の体重により意識をもち，自発的に体重管理に取り組んでほしいと考えた。ゲームに関心がある生徒は多く，ゲーム感覚で行える体重管理アプリを使用することで，意欲的な来室のきっかけづくりができるのではないかと考えた。

IV 使用した支援機器・教材

iPad, iPad アプリ「チビケモノとダイエット～シンプル体重管理～」(Izumi Artisan)
無料

V 実践内容及び成果

毎朝の体重測定後，生徒自身が体重管理ソフトに入力した。このアプリは，日々の体重と体脂肪率を記録することで，キャラクターを育成できるアプリで，時には気が進まない計測も，キャラクターの成長を楽しみに進んで行き，このアプリの活用が来室の動機づけとなった。

また，体重や体脂肪率の変動もグラフで簡単に見ることができ，日々の食事や運動について保健指導を併せて行えることもあって，少しずつではあるが，自分の体重やその変化についても興味をもち始めている。年度当初は軽度肥満であったが，標準体重となった生徒もあり，体重維持のための継続した指導を行っている。

VI 写真・図

写真：「チビケモノとダイエット～シンプル体重管理」



I 徳島視覚支援学校，徳島聴覚支援学校

II 保健室，寄宿舎

III 指導のねらい

染め出しによる歯みがき指導では、磨けていない部分が染め出されるので、手鏡で確認をしながら磨き方を練習する。しかし、見えにくさのある生徒によっては、手鏡で細かい部分を確認することが難しいこともあるため、iPadの「カメラ」機能を活用することで、拡大して確認することができるのではないかと考えた。

IV 使用した支援機器・教材

染め出し液，iPad「カメラ」機能

V 実践内容及び成果

【保健室】歯みがきの後、磨き残した場所を確認する染め出し検査を行った後、iPadの「カメラ」機能を使用して、様々な方向から口腔内の写真を撮影した。すぐに、撮影した写真を見やすい大きさに拡大しながら、磨き残した部分を確認し、磨き方の練習をすることができた。

また事後指導として、撮影した写真をパソコンに取り込み、磨き残しの多い場所、磨き方の注意点等をまとめ、担任、寄宿舎及び保護者向けに資料を作成して配付した。そのことにより、生活の場である寄宿舎や家庭においても、保健室で指導した内容について共通理解を図ることができ、より効果的な歯みがきの習慣を身につけ、仕上げ磨きを行うことで口腔内の清潔の保持へとつなげることができた。

【寄宿舎】保健室での歯磨き指導を受け、寄宿舎でも染め出し液を使用して実践した。iPadの「カメラ」機能を使って、磨き残しを確認した。その後、磨き直すと、汚れが落ちて歯が白くなったことがわかり、取り組むたびに丁寧に歯磨きをしようとする様子がみられた。

VI 写真・図

写真：「カメラ」機能を使った確認



I 徳島視覚支援学校・徳島聴覚支援学校

II 寄宿舍

III 指導のねらい

歯磨きをていねいに行う習慣を身につける。

IV 使用した支援機器・教材

iPad, iPad アプリ「ニャン! とはみがき」(REPCO Inc.) ¥120

V 実践内容及び成果

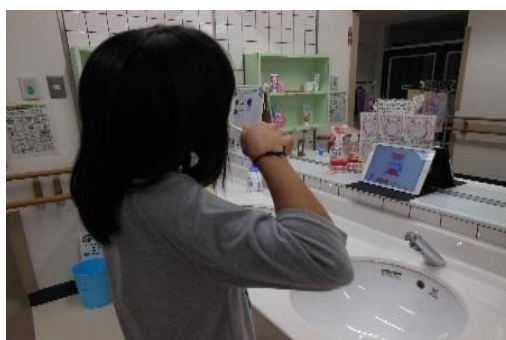
小学部の舎生の就寝前の歯磨きの際に, iPad の歯磨きアプリに合わせて磨く習慣をつけた。

かわいいイラストや音楽のリズムに合わせて楽しみながら歯磨きをすることができ, 3～5分間丁寧に磨くことで, 磨き残しが減った。

また, 時には視覚の舎生も飛び入り参加し, 会話が弾むひとときとなった。

VI 写真・図

写真：iPad の画面を見ながら歯磨きをしている様子



I 徳島視覚支援学校・徳島聴覚支援学校

II 寄宿舎

III 指導のねらい

視覚支援学校・聴覚支援学校の合同自治会における視覚的支援に活用。

IV 使用した支援機器・教材

iPad, パソコン, テレビ

V 実践内容及び成果

毎月1回行っている、視覚支援・聴覚支援の合同自治会で、プログラムやお知らせを行う時、パソコンで作成した資料のデータをiPadに転送し、テレビに映してみんなにわかりやすく説明した。

これまでに行っていた手書きの表示と比べ、文字が見やすく読みやすくなった。画像のカラーでの表示や動画などを使った説明もできるため、わかりやすくなり、舎生の集中力も高まった。

VI 写真・図

写真1：今日の議題の説明



写真2：消毒液の使い方の説明



I 徳島視覚支援学校， 徳島聴覚支援学校

II 寄宿舍

III 指導のねらい

視覚支援学校の生徒が， iPad の「VoiceOver」機能を使って音声で内容を確認することにより， 自治会の内容を再度確認する。

IV 使用した支援機器・教材

iPad, iPad「VoiceOver」機能

V 実践内容及び成果

寄宿舍は， 徳島視覚支援学校と徳島聴覚支援学校の幼児・児童生徒と一緒に生活している。そこで， 視覚舎生と聴覚舎生が情報取得ツールとして， iPad を活用できないかと考えた。

寄宿舍では， 毎月， 視覚・聴覚合同で舎生による「自治会」を実施している。自治会は， 舎生が中心となって運営しており， 聴覚舎生の伝達内容読み上げ場面では， 聞き取りにくいこともある。そこで， 寄宿舍職員が自治会での伝達内容を iPad に入力した。すると， 自治会に参加した後， もう一度確認したい内容があれば， 終了後に視覚舎生が iPad の「VoiceOver」機能で音声を再生して確認することができた。また， 自治会を欠席した舎生にとっても， 伝達内容を知ることができる等， 活用につながっている。

VI 写真・図

写真：「VoiceOver」を使用する様子



I 徳島視覚支援学校，徳島聴覚支援学校

II 寄宿舍

III 指導のねらい

iPad アプリ「筆談パット」を使い，視覚舎生と聴覚舎生とのコミュニケーションを円滑にする。

IV 使用した支援機器・教材

iPad, iPad アプリ「筆談パット」(Catalystwo Limited) 無料

V 実践内容及び成果

寄宿舍は，徳島視覚支援学校と徳島聴覚支援学校の幼児・児童生徒と一緒に生活し，合同で行事を行っており，コミュニケーションツールとしてアプリを活用した。

ある誕生日会では，主役の聴覚舎生に，視覚舎生が気持ちを伝える手段として「筆談パット」を活用した。気持ちを表出することが苦手な視覚舎生であったが，「筆談パット」に事前にメッセージを書いておくことによって，画面を見せながらも，併せて言葉で祝いのメッセージを伝えることができた。聴覚舎生も喜び，お礼の言葉を伝えることができた。「筆談パット」を活用したことにより，舎生自身の緊張を和らげられたとともに，聴覚舎生に確実に気持ちを伝えることができ，和やかな誕生日会となった。

今回，対象の視覚舎生は，事前に言葉を書いて準備していたが，今後は，その場で話題が展開し，リアルタイムでコミュニケーションをとれるような支援や工夫をしていきたい。

また，視覚舎生と聴覚舎生が，手話やジェスチャー，紙に書く，ゆっくり話す等の方法とともに，「筆談パット」のようなアプリも一つの手段として活用していきながら，寄宿舍指導員の仲介だけに頼らず，伝え合おうとする気持ちを支援していきたい。

VII 写真・図

写真：「筆談パット」を使用する様子

